

しのばず自然観察会より 2022-2 2022.02.07

2022 年 2 月の活動 不忍池定点観察 を 中止します

~~集 合：2022年2月20日（日）午前10時 不忍池 不忍池蓮池南西端
緑の小旗あり（野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り） 今回は雨天中止
持 物：筆記用具、双眼鏡、雨具、飲み物、マスク、敷物（必要な方は昼食）
解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚 寒さ対策も！~~



野外活動には不消化の2年が過ぎました。2022年こそ、安心して公園や野山を歩きたいところですが、コロナ感染者数がまた急増に転じました。上野公園がある台東区では検査件数に対する週間新感染率は昨春から夏のピークまで6週間以上あったのに、今年は4週間で昨年のピークを越しました。警戒を怠らぬよう。

昨年一昨年に続いて 会の活動を停止せざるを得ない状況になってしまいました。平日の昼間は公共交通の込み方や人出が少ないので、3月の活動は平日活動も含めて検討してみます。（小川潔）

台東区発表の週あたり区内新型コロナ感染状況（作図：しのばず自然観察会小川潔）



しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2021年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ。

2022年1月の活動 不忍池定点観察+COD チェック より

快晴の空模様でしたが、コロナ感染者急増のせいか参加者は5名でした。この日の不忍池では、カモ類に注目するカメラマン・ウーマンはほとんどなく、もっぱらカワセミを追って移動していました。観察会では、本物の鳥ではないのですが、新品のハクチョウ型ボートの搬入に出会いました。

一昔前、漫才の春日三球・照代さんの「地下鉄の車両はどうやって地下に入れたのだろう？」というのが喝采を浴びましたが、この日は、「ボートはどうやって不忍池に浮かべたのだろう？」という問いに答えを示してくれました。不忍池では最大のボートであるハクチョウ型を荷台に積んだ小型トラックが私たちの前に停車しました。ところがこのトラックのボートには白鳥の頭がなく、首でスパッと切ったようになっていました。よく見ると、首の先端に段があり、頭はあとからそこに差し固定させるようです。頭がついていると、荷物の背が高くなるので、運搬には適さないのでしょう。稼働しているハクチョウ型ボートでは、この接続部分に蝶ネクタイがあててあり、継ぎ目が見えないようになっています。

トラックには小型クレーンがついていて、これでボートを荷台から釣り上げて岸辺の水面まで運びました。次に運転手さんがボート場まで歩いて行き、手漕ぎボートで戻り、池内で岸のぐるりに張ってあるロープの一部を外してハクチョウ型ボートを池の中へ誘導し、予備ボート置き場まで漕いでいきました。そこで首をすげるようでしたが、なかなか次の行動に移らないので、ここで観察はおしまいとなりました。

恒例の池水のCOD簡易測定結果は以下の通りです。CODとは水中の有機物を化学薬品を使って強制的に酸化するときの所要酸素量のことです。数値が大きいほど水中有機物が多いことを示します。いつものようにパックテスト試薬を用いました。今回は特異な高い値の地点はありませんでした。公園への来園者が減ったことや、食べながら歩く人もほとんど見なくなったことの影響があったかも知れません。

COD(mg/L)	2016.01.10	17.01.08	18.01.14	19.01.13	20.01.12	21.01.10	22.01.16
1. 蓮池弁天堂前	7	5	8	8	4	11	4
2. 動物園池弁天堂前	5	4	7	7	7	6	3
3. ボート池南西端堰	5	7	5	7	3	12	5
4. ボート池ボート場横	4	4	5	30	4	5	4
5. 動物園池弁天堂後	7	20	8	7	4	17	5
6. 蓮池弁天堂後	8	4	7	10	6	20	7

2022年地点5は現場では4.5と読んだが、色見本が2mg/Lきざみのため認識できる最小の読みが1mg/Lなので5mg/Lとした。パックテスト試薬は低濃度用を用いた。通常濃度用試薬も用意したが使わなかった。